

着実に一歩ずつ

筑波大学附属小学校 五年 木村 颯汰

僕の夢は整形外科医。骨折して不安でいっぱいだった時、担当してくれた先生がその気持ちを助けてくれた。技術はもちろんのこと、優しく分かりやすく説明してくれて、医師になるためには人間力を高めることが一番大切なかもしれないと感じた。

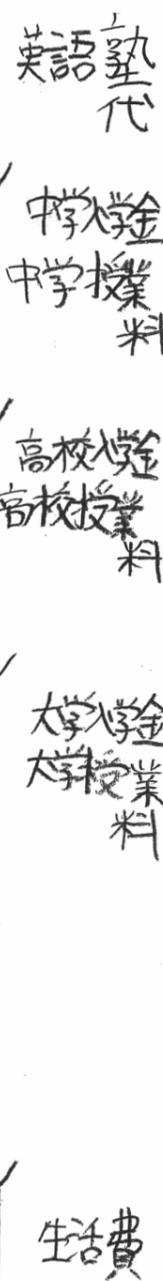
整形外科医になったのち、僕がやりたいことは二つある。一つは、国境なき医師団の活動に参加して、医療が行き届いていない国の人たちを一人でも多く助けたい。東南アジアの国々で長く仕事をしていた祖父は、日本のように医療が恵まれている国ばかりではない。世界には、助けられるのに助からない命が多くあると僕に話してくれた。同じ地球に生まれているのに、その違いは何なのか。豊さとは何だろう、と考えさせられた。国境なき医師団は、日本で医師として働きながら、休みを利用して活動に参加

何も無い。勉強も運動も、係活動や集団生活、全てが自分の成長に繋がると信じている。そして、中学高校と目標を持って学び、医学部に進学したい。

人間力を高めるにはどうしたらよいか。安心させてくれた眼差しはどこから生み出されたのだろうか。その答えは出ていない。きっと、人との関わりを大切に毎日過ごし、その気持ちの積み重ねがあの時の先生の人柄となっていたのではないかな。だから、輝いて見えた先生のようにならなく、なんて到底無理なんだ。諦めずに少しずつ、でも着実に。相手を思いやる気持ち、喜ばせる気持ち、助ける気持ちをいつも心に持っていたいと思う。

最後に、僕のやりたい二つのことを実現させるためには、医学部への入学がスタートラインとなる。学ぶためにはお金もかかる。両親から与えてもらった環境に感謝し、一つ一つの学びをしっかりと吸収して成長していきたい。夢の実現を目指して。

| 西暦(年) | 年齢(学年) | 夢をかなえるために努力すること | 努力するために、なににお金がかかりそうか |
|-------|---------|---------------------------------------|----------------------|
| 2022年 | 11才(5) | たくさん本を読み、視野を広げる。英語を習う。 | 本代 英語代 |
| 2023年 | 12才(6) | 国境なき医師団の教育プログラム(小学5,6年向け)に参加する。 | 教育プログラム代 |
| 2024年 | 13才(中1) | 地域の整形外科医の先生に、整形外科医になるために努力したことなどを話さす。 | |
| 2025年 | 14才(2) | 日本以外の国のことを知るために、サマースクールに参加する。 | サマースクール代 |
| 2026年 | 15才(3) | できるかぎり、世界中で会話がきけるよう、中国語、フランス語を習う。 | 中国語代 フランス語代 |
| 2027年 | 16才(高1) | 医学部に進学できる予備校にかよいはじめ。 | 予備校代 |
| 2028年 | 17才(2) | 世界のことを知るために再びサマースクールに参加する。 | サマースクール代 |
| 2029年 | 18才(3) | 大学受験勉強にはげみなから、新聞や本を読み、世界の医療の状況を学ぶ。 | |
| 2030年 | 19才(中1) | 大学入学。休みを利用して開発途上国をおとす。 | 大学の授業代 旅行代 |
| 2031年 | 20才(2) | 医学の勉強とともに人間性を高める努力をする。先はいい医師の話をきく。 | |
| 2032年 | 21才(3) | 国境なき医師団のボランティア活動に参加。 | |
| 2033年 | 22才(4) | 休みを利用して短期留学。外国の人々とのコミュニケーションの取方を学ぶ。 | |
| 2034年 | 23才(5) | 日本と海外のつなかりを学ぶ。 | |
| 2035年 | 24才(6) | 大学卒業。再び国境なき医師団のボランティア活動に参加。 | |
| 2036年 | 25才 | 大学病院で医師としての働きを学ぶ。 | |
| 2037年 | 26才 | 人間性を高める努力を続けながら、医師として学びを深める。 | |
| 2043年 | 32才 | 医師として働きながら、有給休暇を利用して国境なき医師団の活動に参加する。 | |



夢をかなえるまでのスケジュール

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！